

## 小学部6年 算数科 学習指導案

日 時：9月13日(水)2校時  
場 所：小学部5、6年教室  
児 童：小学部 6年生 5名  
指導者：森澤裕子(T1)、佐々木捷吾(T2)

### 1 単元名 いくらかな

### 2 単元の目標

- (1) ちょうどの金額を出すために、いろいろな金種の中からお金を選んで、お金シートに並べる。  
(知・技)
- (2) 買いたい商品を選んでちょうどのお金を出したり、2つの商品の代金を出すために数の合成を  
してお金を操作したりする。(思判表)
- (3) 様々な硬貨を使ったお金の出し方を生かして、買い物ごっこをする。(学、人)

### 3 児童と単元

#### (1) 児童について

本学習グループは、小学部6年男子4名、女子1名、合計5名で構成されている。ダウン症、ADHD、自閉症の児童である。言葉による指示を理解して活動に取り組むことができる。不正解を恐れて自ら解答を書いたり、発表したりすることに戸惑う児童もいるが、繰り返し学習することで自信が高まると、進んで学習に取り組むことができる。また、分からないことがあると黙ったり、活動が止まったりする児童がいる一方で、分からないことを自ら伝えられる児童もいる。学習に対する意欲は高く、ゲーム活動や具体物を使った学習に対して特に主体的に取り組む姿が見られる。しかし、日常生活の中で、物の数を数えたり、計ったりなど、数字を使う場面が少なく、数に対する関心は低い。ほとんどの児童は10までの数は理解できているが、10までの数の合成の理解には個人差がある。また、金種に関しては、ほとんどの児童が硬貨を見ても名称が分からず、5や10のまとまりで硬貨が変わることの理解も難しい。

6年生は今年の10月に修学旅行を控えており、お土産を買うことを楽しみにしている。買い物については、店に行き、自分で代金を支払う経験はほとんどないが、家族と買い物に行って支払う様子を見ていたり、校外学習でスーパーのセルフレジで支払いをしたりしたことはある。また、自動販売機のジュースを選んで買った経験もある。しかし、どの硬貨を組み合わせで支払えばよいのか、自分で判断することは難しい。

#### (2) 単元について

本単元は、年間を通して、金種について学んだり、お金を使って買い物ごっこをしたりする活動に取り組む。お金は欲しい商品と交換する際に必要な道具である。そのため、自分の好きな物が手に入るという動機付けができ、意欲的に取り組むことができると考える。また、本物のお金を扱うことで、金種の名称を知るだけでなく、硬貨の大きさや色、重さ、表と裏の模様等、お金を手にしたときの感覚を養うことも期待できる。さらに、買い物ごっこを取り入れることで、実際の買い物で行われるようなやり取りを繰り返し体験することもできると考える。また、1円玉や5円玉は1円玉の枠、10円玉と50円玉は10円玉の枠のお金シートに並べる操作活動を行うことで、各桁に対応する金種を覚えるとともに、各桁の数の大きさを理解することにつながる。そして、5円玉、50円玉、500円玉を意識して使っていくことで、1枚1枚順番に数えるよりも5のまとまりを出した方が早いことにも気づき、数への興味・関心を高めることができるとともに、日常生活面でも役に立つスキルを獲得できると考え、本単元を設定した。

### (3) 指導に当たって

#### 〈学習活動〉

- ・児童が見通しをもって取り組めるように、学習の流れを黒板に提示したり、活動の順番や流れを一定にして繰り返したりして行う。(主)
- ・児童が興味・関心をもって活動に取り組めるように、金種クイズをパワーポイントで提示したり、買い物ごっこのような設定にしたりする。(主・深)
- ・お金を支払う体験が繰り返しできるように、お店屋さんとお客さんの役割を交代しながら買い物ごっこをする。(対・深)
- ・お金を正しく数える体験の場が多くもてるように、お店屋さんもお客さんが持ってきたお金をお金シートに並べて確認する。(主・深)

#### 〈場の設定、教材・教具〉

- ・グループでの活動が分かりやすいように、黒板にグループごとに名前カードを貼る。(主)
- ・買い物ごっこの見通しがもてるように、教室の前におもちゃの商品を並べておく。(主)
- ・一人一人が金種ごとにお金が出せるように、各児童に適したお金シートを工夫する。(主)
- ・お金の形や色、重さが理解できるように、本物のお金を使用する。(深)
- ・買う前に商品と値段が分かるように、個々にメニュー表を配付する。(主)
- ・買い物ごっこで誰がどの商品を買ったか分かるように、おもちゃの商品と同じ写真カードを用意し、黒板に貼っていく。(主)
- ・ちょうどの金額が出せるようになったか確認するために、お金シートに金額を書く活動を設定する。(主・深)
- ・5円玉や50円玉、500円玉を使ってお金が出せるようにするために、1円玉や10円玉100円玉の数を決めて配付する。(深)
- ・自分の使う物の管理ができるように、個々にかごを用意する。(主)

#### 〈教師の働き掛け〉

- ・児童が意欲や見通しをもって活動に取り組むことができるように、児童の取組を即時評価で称賛したり、本時の学習をもとに、次時につながる言葉掛けをしたりする。(主・対)
- ・児童の把握がしやすいように、場面やグループで教師の役割を分担する。(対)

## 4 指導計画 (総時間数 26時間)

| 学習活動   | ねらい  | 時数                        |
|--|--|---------------------------|
| ○いくらかな<br>～お金を知ってる?～<br>・金種クイズ<br>・次の時間への見通し                             | ・お金にはいろいろな種類があることを知り、これからの学習に関心・意欲をもつ。(思判表)  | 1時間                       |
| ○いくらかな<br>～ちょうどのお金をだそう～<br>・金種クイズ<br>・金種の名前<br>・いくらかなクイズ<br>・買い物ごっこ(1商品) | ・お金の種類が分かり、金種シートに金種の名称を書く。(知・技)<br>・商品の金額に合うお金を選んで、お金シートに並べる。(知・技)(思判表)<br>・グループの友達と交代でお店屋さんとお客さんになり、買い物ごっこをする。(学、人) | 時間<br>(本時<br>17/19<br>時間) |
| ○いくらかな<br>～ちょうどのお金をだそう2～<br>・いくらかなクイズ<br>・買い物ごっこ(2商品以上)                  | ・同じ商品を複数買ったり、違う商品を複数買ったりしたときの代金に合うお金を選んで、お金シートに並べる。(知・技)<br>・自分に合ったお金シートを選んで、お金を並べる。(思・判・表)                          | 6時間                       |

## 5 本時の計画（総時数18／26）

### （1）全体の目標

- ・金種が分かり、商品に合ったちょうどの金額を5円玉、50円玉、500円玉を使ってお金シートに並べる。（知・技）
- ・様々な硬貨を使ったお金の出し方を生かして、グループの友達と役割を交代しながら、楽しい雰囲気で購入物ごっこをする。（学、人）

### （2）個別の目標

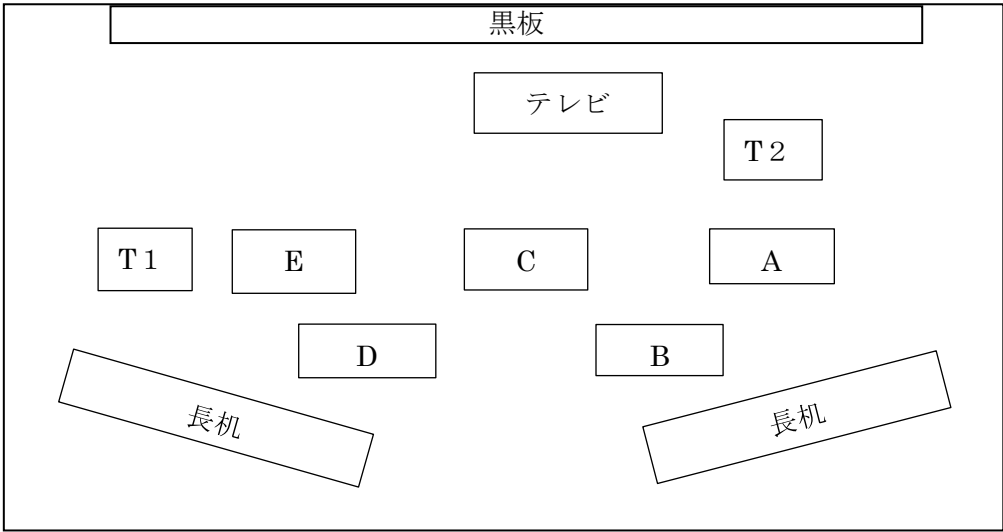
| 氏名 | 児童の実態と学習の様子   | 個別の指導計画の目標（年間）                            | 単元の目標   | 本時の目標  |
|----|---|---|---|--|
| A  | <p>買い物を経験はほとんどなく、5年生のときの校外学習では、セルフレジのお金を入れるところが分からず教師の支援が必要であった。物を選ぶことに時間がかかる。数字に関することは得意であり、簡単な1位数+1位数（繰り上がりなし）であれば、即答することができる。金種については、5円玉や50円玉も分かるようになり、それを使ってちょうどの金額を出すことができるようになってきた。お店屋さんになると、どの商品がよく売れたか報告する等楽しそうにしている。</p>           | <p>・5,000円までのお金を数えたり、簡単な買い物ごっこをしたりする。</p> | <p>・様々な硬貨を使って、ちょうどの金額を出す。（知・技）</p> <p>・複数の商品の代金の合計を出す。（思判表）</p> <p>・自分で買う商品を選んで、買い物ごっこをする。（学、人）</p>                                     | <p>・5円玉や50円玉、500円玉を使って、ちょうどの金額をお金シートに並べる。（知・技）</p> <p>・グループの友達と役割を分担しながら買い物ごっこをする。（学、人）</p>  |
| B  | <p>自動販売機でジュースを買うときには、迷わずお金を入れていた。算数に関心があり、自分で計算問題を考えてどうやって解くのか、教師に聞くことがある。2位数+2位数のたし算は、位同士をたすことは理解できていない。金種を知ると、5円玉や50円玉を使ってお金を出そうとするが、急ぐあまり硬貨の数を間違えてしまうことがあるり、正確な金額を出す確率が低い。買い物ごっこでは、お店屋さんになると、少し荒い口調や態度になるときがあるが、教師の「両手で商品カードを渡すよ」など言</p> | <p>・5,000円までのお金を数えたり、簡単な買い物ごっこをしたりする。</p> | <p>・金種の名前を覚えて、1円～1,000円までを使って商品の金額を出す。（知・技）</p> <p>・2種以上の商品の代金の合計を出す。（思判表）</p> <p>・自分や友達の代金を確認したり、友達とのやりとりを楽しんだりしながら買い物ごっこをする。（学、人）</p> | <p>・5円玉や50円、500円玉を使って、ちょうどの金額をお金シートに並べる。（知・技）</p> <p>・グループの友達と役割を順番通り分担して買い物ごっこをする。（学、人）</p> |

|   |   |  |   |  |
|---|---|--|---|--|
|   | 葉掛けを聞いて、丁寧にやり直すことができる。  |  |   |  |
| C | <p>昨年、自動販売機の学習をしており、1円から1万円までの金種が分かっている。まだ、5円玉や50円玉を使って、お金を出すことに慣れておらず、1円玉や10円玉を1枚1枚並べながら数を数えてお金シートに硬貨を並べている。買い物ごっこのお店屋さんでは、教師と一緒に金の確認をするために、お金シートに友達の持ってきたお金を1枚1枚並べて、合っているか確認することができるようになってきた。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2桁のお金を数えたり、簡単な買い物ごっこをしたりする。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1円から1,000円までを使って、お金シートに商品の金額を出す。(知・技)</li> <li>・お店屋さんになって、友達の持ってきたお金をお金シートに1枚ずつ並べる。(思考判)</li> <li>・金種クイズやいろいろなクイズに楽しく取り組む。(学、人)</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等価が分かる等価カードを使いながら、5円玉や50円玉、500円玉を使って、商品の代金をお金シートに並べる。(知・技)</li> <li>・お店屋さんになって、友達の持ってきたお金をお金シートに並べて代金を数えようとする。(学、人)</li> </ul> |
| D | <p>5年生のときの校外学習の買い物体験では、予算1,000円に対して、品物の合計が1,000円を超してしまった。また、自動販売機で140円のジュースを買うときに、10円を5枚入れてから100円を入れていた。金種は1円玉～100円玉までは、分かっている。商品の金額を出すときに、等価カードを使いながら、5円玉や50円玉を使おうと、意欲がある。分からないことや自信がないことになると、自分から「やらない」と話し、活動が止まることがある。お店屋さんになると「いらっしゃいませ」と元気よくお客さんに声を掛けて楽しく活動している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・500円までのお金を数えたり、簡単な買い物ごっこをしたりする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1円玉から500円玉までの金種の名前を覚える。(知・技)</li> <li>・お金シートの1桁、2桁の枠に金種ごとにお金を並べて、ちょうどの金額を出す。(知・技)</li> <li>・お金をやりとりして、買い物をする楽しさを感じながら買い物ごっこをする。(学・人)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師にヒントをもらったり、等価カードを使ったりしながら、金種ごとにお金シートに並べる。(知・技)</li> <li>・お店屋さんになって、友達の持ってきたお金をお金シートに1枚ずつ並べる。(学、人)</li> </ul>                 |
| E | <p>家庭では、買い物に一緒に行くことがあり、家族のすることをよく見ている。そのため、5年生のときの校外学習では、セルフレジ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・500円までのお金を数えたり、簡単な買い物ごっこをしたりする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1円玉、10円玉、100円玉の名前を覚える。(知・技)</li> <li>・1枚1枚お金を数えて、金種ごとに</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達からヒントをもらいながら、お金シートに金種ごとにお金</li> </ul>   |

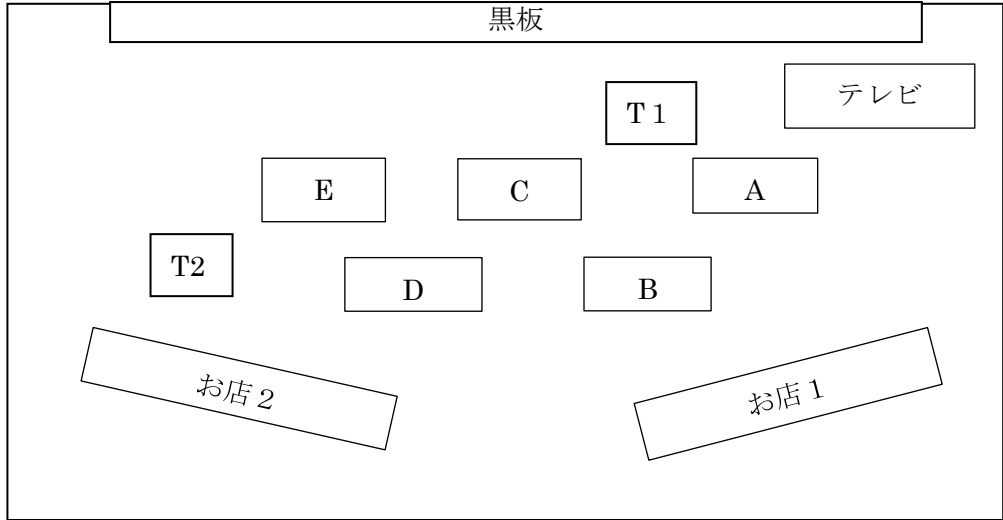
|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p>のお金の挿入口が分かり、支払いがスムーズであった。1円玉と10円玉と100円玉はだんだん分かってきて、教師と一緒に数えながらお金シートに金種ごとに分けて出せるようになってきているが、5円玉や50円玉、500円玉はまだ理解できていない。また、数字をお金シートに書き写すとき、反対に書いてしまうときがある。時々、自分のやり方が正しいと主張し続けるときがある。お店屋さんになると、なりきって楽しそうに活動している。</p> |  | <p>お金をシートに並べる。(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いらっしゃいませ」とお客さんに声を掛けながら、買い物ごっこを楽しむ。(学・人)</li> </ul> | <p>を並べる。(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの友達と役割を分担しながら買い物ごっこをする。(学、人)</li> </ul> |
|---|--|---|---|

(3) 配置図 <小学部5・6年教室>

活動1・2・4・5



活動3



(4) 板書計画

いくらかな

タイム  
タイマー

めあて (5円玉、50円玉、500円玉をつかってちょうどのお金をだそう！)

学習の流れ

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| D | C | E | B | A |
|   | ☆ |   | ☆ |   |

クイズ  
めあて  
買い物ごっこ  
ふりかえり

※おもちゃの商品の写真カード

(5) 学習過程 ※ゴシック体は、学びの実感に関する手立て

| 時間(分)         | 学習活動   | 教師の働きかけ、手立て   | 準備物等  |
|---------------|--|---|---|
| 9:45<br>(10)  | <p>1 始めのあいさつをする。</p> <p>2 本時の活動を見通す。<br/>(1)「金種クイズ」をする。<br/>(2)「いくらかなクイズ」をする。<br/>(3) めあてを確認する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動に見通しがもてるように、黒板に活動カードを貼っておく。(T1)</li> <li>・金種の名前を覚えているか確認し、楽しい雰囲気を始められるように、「金種クイズ」を一斉で行う。(T2)</li> <li>・複数の硬貨を合わせたときのお金の読み方に慣れるために、金種を組み合わせクイズを出題する。(T2)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて<br/>5円玉、50円玉、500円玉をつかって<br/>ちょうどのお金をだそう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5円玉、50円玉、500円玉を使ってお金を出すことを意識付けるために、お金の特徴を絵で表す。(T1)</li> <li>・視覚的にグループが分かるように、名前カードを黒板に貼っておく。(T1)</li> </ul>   | <p>活動カード</p> <p>テレビ<br/>タブレット</p> <p>名前カード</p>  |
| 9:55<br>(20)  | <p>3 買い物ごっこをする。</p> <p>太陽チーム<br/>(A、B)<br/>星チーム<br/>(C、D、E)</p> <p>(買い物ごっこの流れ)<br/>(1) 商品を選ぶ。<br/>(2) お金シートに金額を書く。<br/>(3) お金シートにお金を並べる。<br/>(4) タブレットでお金シートを写す。<br/>(5) お金を財布(トレイ)に入れてお店に行く。<br/>(6) 商品カードをお店屋さんに渡す。<br/>(7) お店屋さんがお金シートにお客さんの持ってきたお金を並べて確認する。<br/>(8) お金が合っていれば商品カードをもらって、黒板に貼る。</p> <p>(商品)<br/>・ビスケット…15円等</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備や後片付けがしやすいように、使う物をひとまとめにしてかごに入れておく。</li> <li>・買い物の体験ができるように、グループ内でお店屋さんとお客さんの役割を交代しながら、買い物ごっこをする。</li> <li>・買い物の雰囲気を出すために、おもちゃの商品を長机に並べる。</li> <li>・お店屋さんも金額の確認をするために、お金シートを準備する。</li> <li>・児童の実態に合わせたグループに分け、グループごとに値段の設定を変える。</li> <li>・買い物に結び付けてお金が数えやすいように、一人一人に合ったお金シートを準備する。</li> <li>・机上で買う物の金額が分かり、買い物がスムーズにいくようにするために、メニュー表に商品の写真と金額を書いておき、各自に渡す。</li> <li>・お金シートにいくら出したかが後で分かり、画像に写せるように、一人1台ずつタブレットを準備する。</li> <li>・<b>5円玉や50円玉を使っている様子が分かるように、教師がタブレットで動画を撮る。(T1)</b></li> <li>・<b>5円玉や50円玉を使ってお金を出したときや教えていたときには、教師はハンドサインや言葉で即時評価する。</b></li> </ul> | <p>※かご(各自)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金シート</li> <li>・ホワイトボードマーカー</li> <li>・お金(お金ケースの中)</li> <li>・財布又はトレイ</li> <li>・メニュー表</li> <li>・等価カード(個に応じて)</li> </ul> <p>タブレット</p> <p>※お店屋さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの商品(各グループ)</li> <li>・おもちゃの商品の写真カード(人数分)</li> <li>・お金シート</li> <li>・ホワイトボードマーカー</li> <li>・サンバイザー</li> <li>・お金を入れる箱</li> </ul> |
| 10:15<br>(15) | <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>(1) 各自タブレットで撮った写真の中から1枚だけ選んで送信する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で撮った写真を見て振り返られるように、写真を見る時間を設定する。</li> </ul>   | <p>タブレット<br/>テレビ</p>  |

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
|  | <p>(2) テレビに映ったお金シートの画像や動画を見る。</p> <p>5 終わりのあいさつをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてについて振り返られるように、児童が撮ったお金シートの画像を提示しながら発問する。(T1)</li> <li>・金種を選んでお金シートに並べている様子が視覚的に分かるように、タブレットで撮った動画を提示する。(T1)</li> </ul> |  |
|--|---|---|--|

**(6) 評価**

- 〈生徒〉・5円玉や50円玉、500円玉を使って、お金シートにお金を並べることができたか。  
 ・お店屋さんとお客さんになって、楽しく買い物ごっこをしているか。  
 〈教師〉・児童が金種を意識してお金を数えることができるような、教材や教師の働き掛けであったか。  
 ・児童が意欲をもって取り組める環境設定や教師の働き掛けであったか。

**(7) 個別の目標（本時）に関わる支援**

| 児童名 | 目標を達成するための教師の働き掛け、手立て  | 支援を行う学習活動        |
|-----|--|------------------|
| A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に集中できないときは、「前を向くよ」や「背筋を伸ばして」など教師が言葉を掛ける(T2)</li> <li>・5円玉や50円玉などを使いながらちょうどのお金をお金シートに並べているときには「5円玉使えていいよ」などすぐに教師が言葉を掛ける。(T2)</li> <li>・商品を選ぶときに迷っていたら、「ドーナッツとビスケットどっちにする」等選択を絞った言葉掛けをする。(T2)</li> </ul> | 活動全般<br>3 買い物ごっこ |
| B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いてお金が数えられるように、「もう一度数えて」や「5円玉使えるよ」など、教師が言葉掛けをする。</li> </ul>  | 3 買い物ごっこ         |
| C   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5円玉や50円玉が自信をもって使えるように、1円玉5枚で5円玉と表と裏を見ながら等価が分かる等価カードを渡す。</li> </ul>   | 3 買い物ごっこ         |
| D   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金種ごとにお金を選んで並べられるように、お金シートに金種に合ったお金のイラストを貼る。</li> <li>・お金が数えやすいように、お金シートのマス目に番号をふる。</li> <li>・5円玉や50円玉が自信をもって使えるように、等価カードを渡す。</li> </ul>  | 3 買い物ごっこ         |
| E   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金種ごとにお金を選んで並べられるように、お金シートに金種に合ったお金のイラストを貼ったり、位ごとに色分けをしたりする。</li> <li>・お金が数えやすいように、お金シートのマス目に番号をふる。</li> <li>・5枚以上硬貨を数えたら等価カードを見せながら「5円玉使えるよ」と教師が言葉掛けをする。</li> </ul>                                      | 3 買い物ごっこ         |